

おおくら

★市民センターだより★

平成26年2月1日発行

第 27 号

大倉地域市民センター

Tel/ FAX 0237-55-2417

子どもたちは危険な道路を通学！ 沿線の皆様のご協力をお願いします

昨年4月より大倉小学校と楯岡小学校が統合になり、大倉地域の子供たちは、毎日元気にスクールバスで楯岡小学校へ通っています。

しかしながら、冬期間に入ってから道路には雪が積もり、除排雪である程度は道路幅が出ているにしても、狭くなった道路を足元を気にしながら通学のバス停まで歩いて行きます。

特に、大上地区・林崎地区・金谷地区においては、バス停のある県道が消雪道路であることから、路肩に融け残った雪が多く、子どもたちは、残った雪を避けながら多くの車が通る車道に出てバス停に向かっていきます。

先日、県の北村山道路計画課においてロータリー除雪車で幅だしを行っていただきましたが、今後も降雪があると思われる、同様に道路が狭くなることが予想されます。

小学生・中学生が通う道路沿線の皆さまにおいては、路肩の雪を除雪していただいている方も多く、歩道の確保にご尽力いただいています。が、子供たちの安全な通学路の確保のため、今後各家庭の雪は道路には出さずに、子供たちが歩けるように少しでも幅だしを行ってくださいますようご協力をお願いいたします。



大倉地域まちづくり計画の見直しが終了

美しい郷「おおくら」をめざして

市民センターだより（号外7月15日発行）でお知らせしましたとおり、大倉地域元気な街づくり協議会では、大倉地域の将来について考え、昨今の地域を取り巻く環境や状況の変化を考慮しながら、より良い大倉・住みよい大倉を目指すべく、大倉地域のまちづくり計画「美しい郷『おおくら』をめざして」の見直し作業を行ってきました。

7月から62名の見直し委員により検討を始め、「地域活用発信関係」「地域福祉関係」「地域防災安全関係」「地域景観環境間」の4作業部会に分かれ、現計画の検証と現街づくり協議会事業との互換性、そして、今後どのようなことが大倉地域にとって必要かを検討してきました。

各作業部会とも3回から4回の部会を開催し、積極的な意見を出しながら計画をまとめ、1月28日の第2回見直し委員会において改訂版計画書を示し内容の報告が行われ、委員全員から了承されて完成となりました。

この計画は、平成26年度から30年度までの5ヶ年間の計画で、全16ページに及び計画書となりましたので、計画書の内容を3回に分け、市民センターだよりで地域の皆さんに紹介して行きます。

なお、新しい計画書は新年度に配布予定です。

大倉地域まちづくり計画（平成26年度～30年度）



美しい郷「おおくら」
をめざして

なぜ計画の見直しが
必要なのでしょう

はじめに

大倉地域元気な街づくり協議会では、大倉地域の将来について考え、よりよい大倉・住みよい大倉を目指すべく、平成22年3月に5ヶ年間の大倉地域まちづくりの指標とするため「大倉地域まちづくり計画」を策定しました。

当初計画から4ヶ年が経過し、街づくり協議会の組織についても充実してきたことから、これまでの計画について評価・見直しを行いながら、新たに今後5ヶ年間のまちづくりに対する方針と目標を設定したものです。

この計画は、これまでの美しい自然景観や豊かで誇りうる地域資源の活用などの事業に加え、大倉地域に



平成26年1月 改訂

大倉地域元気な街づくり協議会

暮らす皆さんが、より身近な地域と人々とのつながりを大切にしながら、安心して住みよく暮らして行ける大倉を目指すことに主眼をおきながら見直しを行いました。

大倉のでは、どのような将来を

目指すのでしょうか

大倉の目指す姿

大倉地域元には、有形無形の貴重な歴史的遺産や美しい自然景観、またそれらを背景にした豊かなみのりなど、多くの誇りうる資源があります。

これらの資源を、地域が主体となり活用しながら守っていくと共に、地域の住民はもとより、訪れた人に感動を与える「美しい郷づくり」を目指します。

また、地域のつながりを大切にしながら、大倉地域に暮らす皆さんが安心・安全で住みよい大倉を目指します。

「地域の歴史的資産や美しい自然景観を活かした住みよい大倉」

大倉の目指す四本柱【実現に向けた具体的な目標】

大倉の目指す姿を実現するために、「地域活用発信」「地域福祉」「地域防災安全」「地域景観環境」の区分を設け、それぞれの区分ごとに将来像を定め、より具体的な目標とします。

地域活用発信

大倉地域の歴史的遺産や自然資産を積極的に活用しながら、地域内外の人々の交流を図ります。

地域活用発信の将来像

「自然豊かな郷土の恵みを活かした

ふれあいのある大倉」

地域福祉

大倉地域に暮らす皆さんが、人々のつながりを大切に、より安心して暮らせる生活環境を目指します。

地域福祉の将来像

「皆んなでささえあい(愛) 安心をつないで暮らせる大倉」

地域防災安全

自助による地域内の防災を整えるとともに、地域内での助けあいによる安全体制の整備を図ります。

地域防災安全の将来像

「備えと助けあい、安心・安全な住みよい大倉」

地域景観環境

大倉の美しい自然景観を守るとともに、皆さんを取りまく環境の改善を行いながら、住み続けられる大倉を目指します。

地域景観環境の将来像

「水辺と緑を育み 人々と自然が共生する美しい大倉」



甕岳山頂からの大倉地域眺望

次回は、各区分ごとの具体的な事業を紹介します。

地域の話題



安全な雪おろしを行うために！

雪おろし講習を受けてきました

安心のための安全帯



記 市民センター 竹村 浩

2月に入り、まだ雪おろしを行わなければならないことも予想されます。命を守り安全な雪おろしを行うために、ぜひ皆さまも安全帯・命綱を着用してください。

1月21日に橿岡地域市民センターを会場に、県主催の「雪おろし講習会」が行われ、参加してきました。

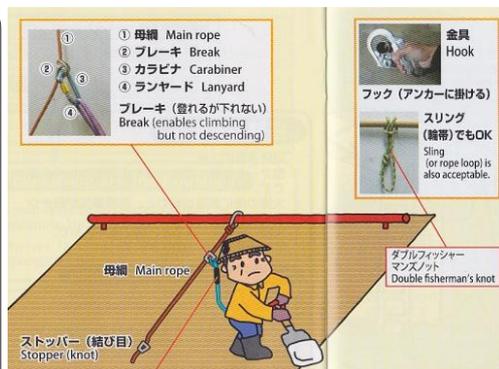
講師は新潟県の長岡技術科学大学准教授で「越後雪かき道場」筆頭師範代 上村靖司氏がつとめ、雪おろし事故の現状や、安全に行うための注意点、そして安全を確保するための命綱・安全帯の使い方など座学を行った後、実際に命綱・安全帯を付けて屋根に上り雪おろしの実践を体験してきました。

従来からあった安全帯と違い、非常に使いやすい、転落の危険が少なくなることから、第一印象は命綱を付けた安心感でした。この安全帯・命綱は、上村先生が新潟に本社のあるコメリに働きかけ開発し、現在は雪国すべてのコメリで販売されています。ぜひ皆さまにもご体験いただきたいと思います。

雪国に住む限り、雪おろしは必ず付きものです。雪おろし事故は高齢化しており、大倉地域での雪おろしの現状も漏れることなく高齢化しています。

雪おろし・除排雪 安全10ヶ条

- ① 雪おろし・除雪は、必ず2人以上で！
- ② 安全な足場の確認！
- ③ 転落した時のクッションのために、地面など周りに雪を残して！
- ④ 無理はしない！（無理して危険な個所に行かない。休憩をとる）
- ⑤ 屋根からの落雪に注意！
- ⑥ 安全な装備！ 命綱・安全帯・ヘルメットを必ず使いましょう！
- ⑦ はしごは倒れないように必ず固定！
- ⑧ 命綱や除雪機などはこまめに手入れしましょう！
- ⑨ 除雪機の雪詰まりは、必ずエンジン停止・ローターの停止を確認しましょう！
- ⑩ 緊急事態に備え、携帯電話は忘れずに！



お知らせ

移動図書館カフェ 冬期間も開催！

2月 1日(土)
3月 1日(土)
12:00~13:00

はやま号は、音楽を鳴らして、お知らせしながらやってきます。

本の借り方は市立図書館と一緒にですが、10冊まで約1ヶ月間借りられる特典付きです。



「おおくら市民センターだより」には、各種お知らせなど、いろいろな情報を掲載します。地域皆さまが載せたい情報をお待ちしています。取材等も伺いますので、お気軽にお問い合わせください。

大倉わくわくランド

「書き初め練習会」を開催

大倉わくわくランドでは、年末年始休みを利用して、12月27日に「書き初め」の練習会を行いました。

休み中の課題として書き初めの練習があることもあり、参加した26名は、工藤貞義さん・林崎鈴木照さん(行川の指導のもと真剣に練習に取り組んでいました。

次の大倉わくわくランドは春休みに行う予定です。

